

議会だより

第14号

■発行：佐渡市議会 ■責任者：梅澤雅廣 ■編集：議会報編集特別委員会
〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地 ☎(0259) 57-8133



鬼太鼓inにいぼ／朱鷺夕映え市

9月定例会

- | | |
|--------------------|--|
| ★平成19年第4回佐渡市定例会 2p | ★議会質問その後…………… 16p |
| ★人事案件・請願・その他… 3p | ★平成19年6月定例会常任委員会の
要望・意見に対する処理状況 17p |
| ★緊急質問・一般質問… 4～12p | ★議会のうごき・
行政視察来市状況・編集後記 18p |
| ★常任委員会活動報告… 13～14p | |
| ★特別委員会活動報告………… 15p | |

平成19年

第4回佐渡市定例会

平成19年第4回（9月）定例会が9月11日から27日までの17日間の会期で開催されました。

27日の最終日の本会議において、佐渡汽船への出資金3999万円など歳入歳出にそれぞれ7億3460万4000円を追加し、総額461億247万5000円とする平成19年度一般会計補正予算案と人事案件等21議案を可決しました。私立高校への公費（私学助成）拡充で、学費と教育条件の公私格差是正を求める請願1件を採択、意見書1件を可決しました。

また、平成18年度病院事業会計決算等など3件を決算審査特別委員会に付託し、閉会しました。

主な議題

- ◆平成19年度佐渡市一般会計補正予算について
- ◆佐渡市情報公開条例及び佐渡市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆佐渡市乳児及び幼児の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆平成18年度佐渡市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◆平成18年度佐渡市病院事業会計、水道事業会計決算の認定について

人事案件・請願・その他

◆人権擁護委員候補者の推薦について

白川 彰 三 (佐和田地区)

採択された請願

◆私立高校への公費(私学助成)拡充で学費と教育条件の公私格差是正を求める意見書の採択を求める請願

議決された意見書

◆私立高校への公費(私学助成)拡充で学費と教育条件の公私格差是正を求める意見書

継続審査となった請願

◆「保育園・幼稚園、小・中学校における集団フッ素洗口事業」の実施延期とインフォームド・コンセントを求める請願

◆飼料価格の高騰による農家負担の軽減と、国産飼料の増産、循環型畜産の発展を図る施策を求める請願

◆適正規模の少人数学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願

臨時議会が開催されました

7月27日第3回

本臨時会では、国民健康保険税条例の一部改正や、歳入歳出それぞれ1877万円を追加し、予算総額を453億6787万1000円とする一般会計補正予算など5議案を可決しました。



一般質問



ココが

聞きたい!!

緊急質問 石塚一雄 議員……………4

◆中越沖地震の対応は……………5

◆障がい者の自立支援について……………5

◆誤報の流布はけしからん……………5

◆祝 優 雄 議員……………6

◆自助能力を欠いた佐渡汽船の経営陣……………6

◆田 中 文 夫 議員……………6

◆次なる4年に向けて……………7

◆猪 股 文 彦 議員……………7

◆北埤頭開発は国道の法線変更で整備を急げ……………7

◆村 川 四 郎 議員……………7

◆羽茂自然学園に光を当てよ……………8

◆松 本 展 国 議員……………8

◆島民のための生活航路を守れ……………8

◆池 田 寅 一 議員……………8

◆医師確保と経営収支計画づくりを……………9

◆廣 瀬 擁 議員……………9

◆中越沖地震から学ぶもの……………9

◆小 田 純 一 議員……………9

◆市民相談窓口の充実を……………10

◆本 間 千 佳 子 議員……………10

◆底力のある行政を……………10

◆大 桃 一 浩 議員……………10

◆佐渡航路の今後の体制は……………11

◆加 賀 博 昭 議員……………11

◆総理大臣が休耕地900haにアルコール稲の作付けを許可……………11

◆中 村 良 夫 議員……………11

◆後期高齢者医療制度の大幅見直しを……………12

◆小 杉 邦 男 議員……………12

◆島民合意のない妙見山頂レーダー配備の現状は……………12

◆近 藤 和 義 議員……………12

緊急質問

石塚一雄 議員

中越沖地震の

対応は



〔質問〕 中越沖地震後の、等の財政支援を行いたい。

佐渡におけるこれまでの経過報告及び被害状況を問う。

〔質問〕 風評被害によるキヤンセルが現在も続いている状態だが、佐渡自体は安全だということを早急に周知すべきと考える。佐渡市としてどのような対策をとっているのか。

〔市長〕 幸いにも佐渡は大きな被害がなかった。柏崎市への支援は、県の協定によりすぐに消防本部部隊を派遣し、その後、県災害対策本部からの要請で保健師やその他の体制を組んで派遣した。

〔質問〕 風評被害に対する対応策と観光業者への支援策を問う。

佐渡観光協会が23日、緊急誘客対策への財政支援協力を求める要望書を市に提出しているが、その支援策は。

〔市長〕 既に姉妹都市などを訪れてトップセールスを実施している。緊急誘客宣伝

筋を聞きたい。今回、佐渡市は東電に嚴重な抗議行動を示すべきであり、安全性の確保、情報開示の徹底や風評被害に対する損害賠償・補償も辞さずという姿勢を表明すべきと考えるが、要望書等の用意があるのか。

また、水産業界にも風評被害が出ていると聞くが、佐渡の海水や水産物の安全性の調査を実施しているのか。大気中の放射能の検査を佐渡でも行っている事実があるのか。

〔市長〕 東京電力に対して厳しい態度で臨む。佐渡市は原発に対しほとんど対応ができない状態である。県と調整しながら、今後しっかりと対応をとらなければならないと考えている。

〔総務部長〕 県が行った赤泊地区の海水と魚の調査では、放射性物質は検出されなかった。大気中の放射能検査は、佐渡関岬測定所で放射能等の調査を行った。

〔市長〕 既に姉妹都市などを訪れてトップセールスを実施している。緊急誘客宣伝

筋を聞きたい。今回、佐渡市は東電に嚴重な抗議行動を示すべきであり、安全性の確保、情報開示の徹底や風評被害に対する損害賠償・補償も辞さずという姿勢を表明すべきと考えるが、要望書等の用意があるのか。

また、水産業界にも風評被害が出ていると聞くが、佐渡の海水や水産物の安全性の調査を実施しているのか。大気中の放射能の検査を佐渡でも行っている事実があるのか。

〔市長〕 東京電力に対して厳しい態度で臨む。佐渡市は原発に対しほとんど対応ができない状態である。県と調整しながら、今後しっかりと対応をとらなければならないと考えている。

〔総務部長〕 県が行った赤泊地区の海水と魚の調査では、放射性物質は検出されなかった。大気中の放射能検査は、佐渡関岬測定所で放射能等の調査を行った。

〔市長〕 既に姉妹都市などを訪れてトップセールスを実施している。緊急誘客宣伝

筋を聞きたい。今回、佐渡市は東電に嚴重な抗議行動を示すべきであり、安全性の確保、情報開示の徹底や風評被害に対する損害賠償・補償も辞さずという姿勢を表明すべきと考えるが、要望書等の用意があるのか。

また、水産業界にも風評被害が出ていると聞くが、佐渡の海水や水産物の安全性の調査を実施しているのか。大気中の放射能の検査を佐渡でも行っている事実があるのか。

〔市長〕 東京電力に対して厳しい態度で臨む。佐渡市は原発に対しほとんど対応ができない状態である。県と調整しながら、今後しっかりと対応をとらなければならないと考えている。

〔総務部長〕 県が行った赤泊地区の海水と魚の調査では、放射性物質は検出されなかった。大気中の放射能検査は、佐渡関岬測定所で放射能等の調査を行った。

〔市長〕 既に姉妹都市などを訪れてトップセールスを実施している。緊急誘客宣伝

筋を聞きたい。今回、佐渡市は東電に嚴重な抗議行動を示すべきであり、安全性の確保、情報開示の徹底や風評被害に対する損害賠償・補償も辞さずという姿勢を表明すべきと考えるが、要望書等の用意があるのか。

また、水産業界にも風評被害が出ていると聞くが、佐渡の海水や水産物の安全性の調査を実施しているのか。大気中の放射能の検査を佐渡でも行っている事実があるのか。

〔市長〕 東京電力に対して厳しい態度で臨む。佐渡市は原発に対しほとんど対応ができない状態である。県と調整しながら、今後しっかりと対応をとらなければならないと考えている。



一般質問

金光 英晴 議員

障がい者の自立支援について



【質問】 障がい者小規模作業所の運営は大変苦しい現状で、適切な支援・指導を求める。また、施設利用者の作品販売や就労支援は十分でないか。

【市長】 面積の広い佐渡には、小規模作業所は必要な施設であり、障害者自立支援法による利用者負担増については、国に制度見直しを要望していく。

【福祉保健部長】 作業所運営は、県の補助金削減で厳しい状況であり、市の運営費で補助している。就労支援は市の施設や社協等に依頼をしている。また、授産品の販路についても検討中である。

【社会福祉課長】 施設の運営基盤安定のため、利用計画人員数での支援費配分を検討し、また、施設間連携の強化で運営安定化を指導する。

入浴施設の運営について

【質問】 佐渡市健康保養センター等運営委員会の建議から市の方針はどうするか。

【市長】 利用実績や市財政から検討して、「5年以内」に4施設に縮小、または用途変更の建議が委員会から提出され、市は委員会方針に沿った判断が必要と考えている。

【福祉保健部長】 現在、5施設を指定管理公募中。おぎの湯は地盤調査、ゆとりぴあ真野は用地交渉完了後に再検討する。

【質問】 来年度の指定管理はどうするのか。

【市長】 各公社の今後の運営方針は、宿泊と農業部門の5

公社の運営について

【情報政策課長】 2400万円、今後、佐渡全域が視聴可能となると番組提供料は約4500万円になる。

公社とともに抜本的見直しが必要であり、各部門に指示を出している。

CNSの運営事業について

【質問】 CNS運営事業の収支はどうなっているか。

【市長】 今年度は歳入が8600万円、歳出が1億5800万円、平成20年度はネット網が完成するので収入増大の見通しである。

【質問】 今後の運営方針はどうするのか。

【市長】 全域ネットの完成で、施設の維持管理費、番組制作費等の経常的な運営経費は、基本的には視聴者の使用料で賄われるよう加入促進を図る。番組制作も合理的人員配置で適切な番組にしていきたい。

【質問】 佐渡テレビに支払う番組調達視聴料はどうなっているか。

【情報政策課長】 2400万円、今後、佐渡全域が視聴可能となると番組提供料は約4500万円になる。



一般質問

大澤 祐治郎 議員

誤報の流布はけしからん



【質問】 財源の裏付けのない庁舎建設計画をいたずらに流布して、市民感情を混乱させ高野執行部は責任をどう取るのか。間違った発言をもっともらしく補完するために条例解釈を曲解して、さも金井に本庁舎を置くことが条例に明記されていると誤報を流す。

【市長】 田初太郎職務執行者の専決した312議案の1条例と誤解して議決した。しかし、この議決は議事録に内容を表記していない奇妙な扱いになっている。それが条例文を書いたのか犯人捜しをするつもりはないが、これは表記のすり替えになる。すなわち、公文書の偽造、捏造になる。

【質問】 市民にいろいろな自由や我慢を強いる現状を考えるべきだ。

【総務部長】 職員の精神面や機能性を考えると限界にきている。

【市長】 市民にいろいろな自由や我慢を強いる現状を考えるべきだ。

【総務部長】 職員の精神面や機能性を考えると限界にきている。

【市長】 庁舎は新築できれば理想だが、財政が許さない。

そこで、有効利用が可能な公共施設が金井庁舎近くに

あったら最小経費で改造したいと考えたが、見つからないし財源もないので当分の間は分庁でいく。

現在、300人の職員と30人の議員が堂々と入る機能を持った佐和田庁舎は25年の建築年数だが、なぜ、それを本庁舎として使用しないのか。原形のまま一銭も必要なく環境整備も整っている。健全財政を考えるべきではないか。

【総務部長】 当分の間、金井本庁と佐和田、両津分庁でいきたいと考えている。

【市長】 庁舎は新築できれば理想だが、財政が許さない。

【市長】 庁舎は新築できれば理想だが、財政が許さない。

一般質問

祝 優雄 議員

自助能力を欠いた
佐渡汽船の経営陣

【質問】 私は、小木航路へ船がジャスタックに提出しの2億円の公的資金導入は、た、平成19年の中間決算短成功の確率は皆無と言いつつ信では、現在、小木直江津にきてきた。佐渡汽船にとって県は、半数を保有する大株主であるが、経営形態は民間会社で、佐渡汽船の経営者が責任を持つべきと正論を述べ続けてきた。

しかし、状況を把握できていない人たちが、「船頭多くして」のことわざどおり。このような体制では良い結果を得ることはできないと指摘をしてきた。小木航路への公的支援事業を継続しながら、増資に踏み切るとすれば、島民の理解を得ることは難しいと思う。

なぜなら、同じ民間会社に、市民の納める税から、同じ年度に二度も公的支援を行うことが島民の理解を得ることができるのか。

『また、8月30日、佐渡汽船がジャスタックに提出しの2億円の中間決算短成功の確率は皆無と言いつつ信では、現在、小木直江津にきてきた。佐渡汽船にとって県は、半数を保有する大株主であるが、経営形態は民間会社で、佐渡汽船の経営者が責任を持つべきと正論を述べ続けてきた。』

しても放置することはできない。

このように、当事者能力を持たない結果、了解を得ていた新潟市が最終的に増資に参加しないことになり、小木航路支援の重要なメンバーの上越市の理解が得られない結果につながっている。

ここに来る経過を見ても分かるのとおり、佐渡汽船現経営陣の当事者能力を全く持たないことを裏付ける発言であり、現経営陣の人心一新こそが最大の改革で、再建を進める上で欠くことのできない対策と考えている。この問題を、市長はどのようにとらえているのかを聞く。

【市長】 現在、小木・直江津航路支援として2億円を19年、20年の2年間に佐渡市は6500万円を支援することとしている。支援事業の目標は、17年度実績に対し15%の利用者の上乗せ目標を立てたが、6か月が経過した現在、目標の達成は不可能に近いと考える。

一般質問

田中 文夫 議員

次なる4年に
向けて

公共施設の活用について

【質問】 各支所・出張所は業務の本庁集約化に伴い、事業・人員も縮減され、庁内スペースにゆとりが生まれたと同時に、遊休化スペースも派生したと思われる。現在の各庁舎の利活用状況について問う。

取り組む。

【質問】 新市発足から4年、厳しい行財政を求められる中、「何が出来て、何が出来なかったか」、次期へ向けての総括を問う。

【質問】 行政改革マニュアル2007の実施状況は。

【総務部長】 11部課から出された55項目の公約について、10月10日からチェックする予定。

【市長】 ほとんどが2階以上は空いているという現状。一部シルバー人材や社協に入ってもらっているが、大半は会議室や資料室に代用している。今後、見直しを図る中で地域で利用しやすい仕組みを作る必要がある。

【質問】 指定管理化した諸施設の有効性について問う。

【市長】 年間6千万円程度の節減になると見込んだが、漫然と継続するのでなく、サービス向上の検証や譲渡売却も視野に入れて今後も

現段階は23が達成可、30が未定、不可が女性参画率向上と選挙集計時間の短縮。

私は課せられた最大の使命は空港問題と思っている。

現在、佐渡空港



現在の佐渡空港



一般質問

猪股 文彦 議員

北埠頭開発は国道の 法線変更で整備を急げ



【質問】 観光客が毎年減少度できるところからやってきているにもかかわらず、いく。また、国道バイパスその対策の一つになっていない。佐渡の玄関口の整備が未だ手がついていない。北埠頭の整備計画の具体的内容と今後のスケジュールを明確に示されたい。

また、北埠頭整備に大きくかわかる国道350号線のバイパス計画も遅々として進んでいない。

下水道使用料の 値下げで加入促進を

【質問】 下水道工事が毎年計画どおり実施されているが、加入率が低い。平成26年度には市町村合併したことにより、県が運営している国仲流域下水道まで市が背負うことになる。将来、当初計画のバブルの時代から大きく政治状況は変わった。現実的な政治転換を図るべきだと考えるがどうか。

市長 佐渡の表玄関であり、検討委員会を立ち上げ、円を10万円とする。また、今年度中に結論を得て来年使用料も現在の水道料の

125%の下水道料金を大幅に下げる。大口加入者、つまりホテルなどは30%にするなどして加入率を80%程度に引き上げなければ、だれのための下水道事業か分からない。この提案を受け入れるかどうか。

建設部長 下水道計画の見直しを進めているところであり、一つの提案として受け止め、参考にさせていただく。

フツ化物洗口の 実施の見直しは

【質問】 「虫歯予防」のフツ化物洗口を保育園、小学校で実施することは、佐渡歯科医師会が推進している以上、この医療関係者としての良心を信じたいと考えるが、反対もあることから具体的説明を求める。

福祉保健部長 市の要領もでき、関係者によく説明し理解を得て進めていきたい。



一般質問

村川 四郎 議員

羽茂自然学園に 光を当てよ



【質問】 市は羽茂自然学園をお荷物のように支所に丸投げだが、私は宝物だと思ふ。市の特色ある事業として光を当て拡大すべき。今後の運営方針について問う。

教育長 今後は、長期留學生の増員を広く図るとともに、多くの市民から利用していただくよう取り組む。

市長 私も含めてこの学園への認識が深くなかった。一度訪ねて現場を見て、

佐渡島の呼称統一問題

【質問】 佐渡島の公式呼称は、「さどしま」。よって、文部科学省の学校教科書、地図は「さどしま」で教育している。統一が遅れるほど問題がこじれ広がる。その後の市の対応はいかに。

教育長 関係4課の検討会の結果、広く歴史的背景や記述の理解を深めることが必要となり、「市報さど」9月号から3回お知らせをする。今後は市民の意見を聞きながら関係各課で対応を検討する。



自然環境に恵まれた羽茂自然学園

市長 島民や島外の人、いろいろな意見がある。もう少し時間をいただき皆さんで議論を行う場を持ちたいと考えている。

畜産振興から

【質問】 全共（和牛のオリンピック）参加への支援と、赤泊天狗塚の廃棄バス撤去後南部地区の牧場に利用をしようか。

市長 共同畜舎の経営者から全共出展が決まったことは大変嬉しいことであり、県やJAと協力しながら支援を実行する。廃棄バスは年内中に撤去するが、牧場適地であるかは今後の検討課題である。

地域医療計画を 前進させよ

【質問】 地域医療計画は個々の市民病院対策ではなく、全体の医療レベル・規模の視点でなければ方向性は見えてこない。周辺の患者を中核病院に的確に紹介できる医療計画を一日も早く進めるべきではないか。

市長 議員の意見に基本的に賛成であり、検討委員会の結果を全体的な病院配置計画と一緒に出していきたい。



一般質問

松本 展国 議員

島民のための
生活航路を守れ



【質問】 佐渡汽船が債務超過の解消策として6億円の増資を行う計画を発表したが、これに佐渡市として約4000万円を資金協力する理由は何か。

【市長】 佐渡航路は、島民の生活航路として極めて重要であり、更に観光についても利用している生命線ともいえる航路である。債務超過を解消し、財務体質を強化することは、佐渡汽船の経営

安定に繋がっている。市には、1隻体制についての正式な話はないが、同航路の維持と利便性を確保する点より引き続き2隻体制を主張していきたい。

【市長】 小木・直江津航路は、上越市と佐渡市の経済活動に影響を与え、また、北陸新幹線もできることから同航路は重要な航路と考

【教育次長】 特別な事情により、他の高校を受験することとは可能であるが、その場合、他の高校への出願をも

【質問】 佐渡汽船は、来年春より小木・直江津航路について「現在の2隻体制から1隻体制へ移行したい」考えを明らかにした。佐渡市として、今後、2隻体制を前提とした「小木・直江津航路あり方検討会議」にどのような考えで臨むのか。

【質問】 佐渡中等教育学校の在校生が3年次終了後、他の県立高校を受験することとは構わないのか。また、逆に市内の中学校卒業生が一定の要件を満たせば、この学校に編入学することは許されるのか。

【質問】 佐渡中等教育学校の今後のスケジュールは、どのようなになっているか。

【質問】 佐渡中等教育学校の在籍生が3年次終了後、他の県立高校を受験することとは構わないのか。また、逆に市内の中学校卒業生が一定の要件を満たせば、この学校に編入学することは許されるのか。

【質問】 佐渡中等教育学校の今後のスケジュールは、どのようなになっているか。

【質問】 佐渡中等教育学校の在籍生が3年次終了後、他の県立高校を受験することとは構わないのか。また、逆に市内の中学校卒業生が一定の要件を満たせば、この学校に編入学することは許されるのか。

【質問】 佐渡中等教育学校の今後のスケジュールは、どのようなになっているか。

【質問】 佐渡中等教育学校の在籍生が3年次終了後、他の県立高校を受験することとは構わないのか。また、逆に市内の中学校卒業生が一定の要件を満たせば、この学校に編入学することは許されるのか。

【質問】 佐渡中等教育学校の今後のスケジュールは、どのようなになっているか。

【質問】 佐渡中等教育学校の在籍生が3年次終了後、他の県立高校を受験することとは構わないのか。また、逆に市内の中学校卒業生が一定の要件を満たせば、この学校に編入学することは許されるのか。

【質問】 佐渡中等教育学校の今後のスケジュールは、どのようなになっているか。

【質問】 佐渡中等教育学校の在籍生が3年次終了後、他の県立高校を受験することとは構わないのか。また、逆に市内の中学校卒業生が一定の要件を満たせば、この学校に編入学することは許されるのか。

【質問】 佐渡中等教育学校の今後のスケジュールは、どのようなになっているか。

【質問】 佐渡中等教育学校の在籍生が3年次終了後、他の県立高校を受験することとは構わないのか。また、逆に市内の中学校卒業生が一定の要件を満たせば、この学校に編入学することは許されるのか。

佐渡汽船の新株式の割当先、
株式数及び払込金額(自治体関係分)

(1)新潟県	344,800株	99,992,000円
(2)佐渡市	137,900株	39,991,000円
(3)長岡市	68,900株	19,981,000円



一般質問

池田 寅一 議員

医師確保と経営
収支計画づくりを



【質問】 医師確保の見通しについて一般質問や常任委員会、決算審査特別委員会

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

進める考えか。

【選管委員長】 現時点での計画はない。

【質問】 今、へき地は人口の減少と高齢化が進み、日常生活の悩みや老後の不安のある中で、多少の不公平線に立つて思いやりのある行政を進めてはどうか。

【選管委員長】 今後の選挙には投票率が向上するよう努めたい。

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

【市長】 本年度、病院、医師会等で連携した医師確保対策チームを立ち上げ、これからの人脈づくりをしな

病院別延べ患者数(人)

区分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
入院	両津病院	29,908	27,067	28,378
	相川病院	17,057	19,293	17,068
	計	46,965	46,360	45,446
外来	両津病院	80,800	73,130	71,028
	相川病院	29,931	27,814	30,424
	計	110,731	100,944	101,452

一般質問

廣瀬 擁 議員

中越沖地震から 学ぶもの



により、災害危険場所の把握をして安全確保について啓発、指導が必要である。危険物取扱業者とも連携して災害に強いまちづくりを推進していく必要がある。

【質問】 災害対策本部の設置と職員の招集体制は。

市長 災害対策本部は震度5で即刻設置される。今回はその必要がないと判断、4回の総合対策調整会議を開催し、関係機関と情報交換をした。

【質問】 真つ先に守るべき住民の避難所への誘導、整備体制は十分か。

【総務部長】 集落の自主防災組織、警察等関係機関の協力を得て住民が、安全かつ迅速に避難できるよう組織的な避難誘導を図りたいと考えている。

【質問】 高齢者、障がい者、外国人居住者等の災害時要援護者の誘導は。

【総務部長】 共同生活が困難な人を満足な避難所に誘導するところは、今のところ佐渡市にはない。今後の課題である。

【質問】 障がい者や寝たきり老人等の生活弱者の避難は

【総務部長】 地域の防災活動

【質問】 困難と考えるが。

【社会福祉課長】 災害時安全な場所に避難させるのに役立つ要援護者台帳を、防災管財課と社会福祉課が中心になり整備していく。

【質問】 プライバシー保護はどうなのか。

【社会福祉課長】 災害時関係者に知れることを、あらかじめ本人の同意を得ることで対処する。

【質問】 ライフライン被害の対策はどうなのか。

【総務部長】 災害防災計画に基づいて、電力・電話・ガスの復旧は関係事業者と連携して対応。飲料水に関しては、給水に水道施設の応急体制を作り、被災者に拠点給水、運搬給水、仮設給水等速やかに合理的に計画給水体制を実施していく。

【質問】 危険物施設等の対応について問う。

【総務部長】 地域の防災活動

【質問】 災害時、民間業者との応援協定の締結は。

【総務部長】 2つの民間業者と災害時救援物資提供の提携をしている。県内12市町村や入間市、国分寺市等の友好都市との応援協定もしている。

【質問】 地域防災組織設立マニュアルは。

【総務部長】 今年度、地域防災組織結成に向けての推進のため、マニュアル作りや自主防災組織育成支援事業として補助金を創設して支援していく。

【質問】 今年度、地域防災組織結成に向けての推進のため、マニュアル作りや自主防災組織育成支援事業として補助金を創設して支援していく。

【質問】 今年度、地域防災組織結成に向けての推進のため、マニュアル作りや自主防災組織育成支援事業として補助金を創設して支援していく。

【質問】 今年度、地域防災組織結成に向けての推進のため、マニュアル作りや自主防災組織育成支援事業として補助金を創設して支援していく。

【質問】 今年度、地域防災組織結成に向けての推進のため、マニュアル作りや自主防災組織育成支援事業として補助金を創設して支援していく。

【質問】 今年度、地域防災組織結成に向けての推進のため、マニュアル作りや自主防災組織育成支援事業として補助金を創設して支援していく。



中越地震による倒壊家屋の現状

一般質問

小田 純一 議員

市民相談窓口の 充実を



待機児童を緊急避難的に受け入れる保育園の増設、または空き施設の活用は。

【質問】 総合案内と金井支所的機能の強い市民相談室を、社会情勢を反映した市民ニーズにこたえ、多重債務を含む生活相談窓口として、福祉施設や法テラス等と連携し問題解決可能な体制充実と職員の増配置を。

市長 法テラスの状況は認識している。法テラスの協力による担当職員のスキルアップやUターン者で法的仕事にかかわった人や社協等と協議をして対応したい。

【質問】 NPO法人「結」や連合佐渡のライフサポートセンター等、民間の市民相談窓口への支援、連携については。

市長 ありがたい組織であり、現実には必要である。連携の仕組みは必要である。育、希望の多い国仲地区の

【質問】 民生・児童委員の献身的活動への支援は

【質問】 平成18年度の活動状況によれば、活動日数の1人平均は134日（多い人は223日）、児童に関する相談分野の拡大や他団体からの安易な奉仕活動の要請が過重な負担を生んでいる。市として他団体との調整や活動量、内容に見合った実費弁償等の検討は。

市長 提起された問題があることは認識している。内20市中2番目。算定内容は今後検討する。ボランティア等については、負担にならないよう地区ごとに検討したい。

【質問】 子育て支援の充実を

【質問】 0歳児、1歳児保育、希望の多い国仲地区の

【質問】 空き施設活用によるサテライト方式が可能か検討する。増設スペースがあるのは1施設くらいである。

【質問】 学童保育の拡大（とりわけ定員を超える佐和田地区）と運営組織育成による委託事業方式の検討は。

市長 運営組織の育成は必要であるので進めていきたい。

【生涯学習課】 佐和田地区については、体育館等の活用を検討する。

白雲台の早急な整備を

【質問】 観光拠点としての展望台や休憩所の整備は。

市長 雪解けまでに整備したい。

【質問】 雪解けまでに整備したい。

【質問】 雪解けまでに整備したい。

【質問】 雪解けまでに整備したい。

【質問】 雪解けまでに整備したい。

【質問】 雪解けまでに整備したい。

【質問】 雪解けまでに整備したい。

【質問】 雪解けまでに整備したい。

【質問】 雪解けまでに整備したい。

【質問】 雪解けまでに整備したい。